

協住木

独自資格取得者3千人に

非会員からの受験も増加

日本木造住宅産業協会 認定試験の成績優秀者4
(矢野龍会長)は20日、人を表彰した。323人
第14回「木造ハウジング」が受験して263人が合
格し、合格者累計が30



14年度は263人が合格した（写真は20日に開いた成績優秀者表彰式）

00人を超えた（320
2人）。最高得点者は、
400点満点で393点
の細野雅之氏「アイデア、
写真⑤」だった。

細野氏は「木造住宅を
取り扱うようになって日
が浅く、業務のスキルア
ップのために受験した」
と動機を話した。同協会

は会員外の業者へも資格
取得を呼びかけている。
細野氏が所属する「アイデア
も会員ではない。」

383点の齋藤公宏氏
「TOKAI、写真⑥」か
ら2人目。2人目は「通勤時間
中にテキストを携帯電話
に転写して勉強した」、
同点の山中一憲氏「アズ

ビル、写真⑥から2人目
は「空調システムの販
売業務を行っている中
で、住宅構造や建築工程
について知識が必要だっ
た」と、それぞれ勉強方
法や受験理由などを説明
した。

382点の仲本凌氏「
ボラテック、写真⑦」は
「大学の文学部を出て入
社1年目。会社の寮で同
期とともに朝方まで勉強
していた」とこれまでの
努力を語った。

同資格の目的は、木造
住宅業界の発展に貢献す
る人材の育成。資格取得
者は、「木の家の良さ」
についてのユーザーへ向
けた適切な説明やユーザ
ーと技術者との橋渡しの
ほか、今年からライフプ
ランニングシミュレーシ
ョンの提案も可能となっ
た。

同協会は今年で設立30
周年。会員数は575社
と過去最高となっている。